



サッカーを楽しむ学生と特別支援学校の生徒＝春日井市松本町の中部大で

## 特別支援学校と交流

### 中部大 懸命にボール追う

中部大（春日井市松本町）の学生と春日井市内の二つの特別支援学校の生徒計六十五人が十一日、同大でサッカーの試合をして交流した。障害者への理解を深めようと、中部大生命健康科学部の学生が「心をつなごう！スポ・レクチャレンジ」と銘打って企画した。

中部大の学生、春日井特別支援学校スポーツ部、春日井高等特別支援学校陸上部の三チームで総当たりのリーグ戦を実施。青空の下、参加者はボールを一生懸命追い掛け、ゴールを狙った。

生命健康科学部三年の真野翔さん（三）は「一緒にプレーしている時は、障害の壁を全く感じなかった。交流を今後も続けたい」と話した。春日井高等特別支援学校一年の山田基記さん（二）は「広いグラウンドで思い切りプレーできて楽しかった」と喜んでいた。

（佐久間博康）